

2023年3月期 第3四半期 連結決算（補足説明資料）

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがありますので、本情報や資料の利用については、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいようお願い致します。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

<サマリー>

■ 前年同期比、増収増益。

◇収益	6,777 億円	20.8% 増収
◇営業活動に係る利益	296 億円	40.5% 増益
◇税引前四半期利益	284 億円	38.4% 増益
◇親会社所有者帰属四半期利益	155 億円	29.2% 増益

■ 営業活動利益370億円→380億円、税引前利益355億円→360億円に上方修正。一方、当期利益見通しは非支配持分損益なども鑑み据え置き。

1. 損益の状況

(単位：億円)	2022/3月期	2023/3月期	前年同期比		2023/3月期	
	第3四半期	第3四半期	増減額	増減率	見通し	進捗率
収益	5,609	6,777	1,168	20.8%	8,700	77.9%
売上総利益	815	929	114	13.9%	-	-
販売費及び一般管理費	△ 627	△ 694	△ 67	-	-	-
その他の収益・費用	23	62	39	170.0%	-	-
営業活動に係る利益	211	296	85	40.5%	380	78.0%
利息収支	△ 11	△ 24	△ 13	-	-	-
受取配当金	7	9	2	-	-	-
その他の金融収益・費用	△ 15	3	19	-	-	-
金融収益・費用	△ 19	△ 12	8	-	-	-
持分法による投資損益	14	△ 1	△ 14	-	-	-
税引前四半期利益	205	284	79	38.4%	360	78.9%
法人所得税費用	△ 57	△ 89	△ 32	-	-	-
四半期利益	149	195	47	31.5%	-	-
親会社所有者帰属四半期利益	120	155	35	29.2%	190	81.7%
1株当たり四半期利益 (円)	143.84	185.84	42.00	29.2%	227.48	81.7%

【収益】

すべてのセグメントにおいて前期比増加し、1,168億円の増収。

【営業活動に係る利益】

鉄鋼・素材・プラントセグメント、電子・デバイスセグメントを中心に、85億円の増益。

【税引前四半期利益】

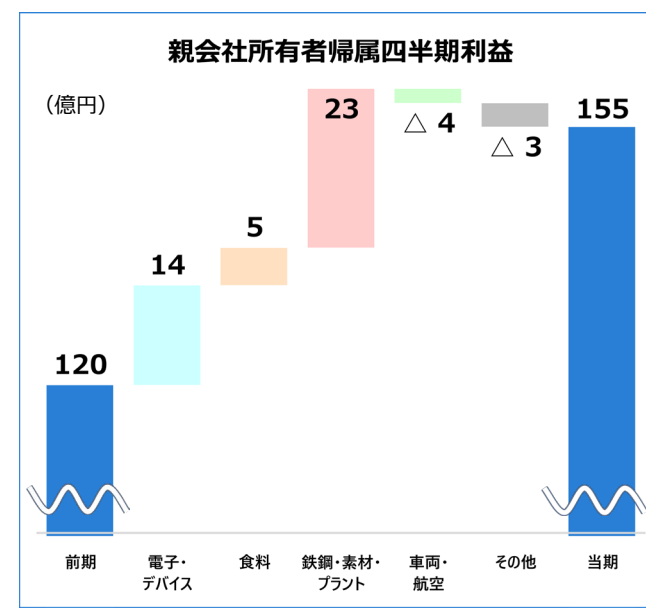
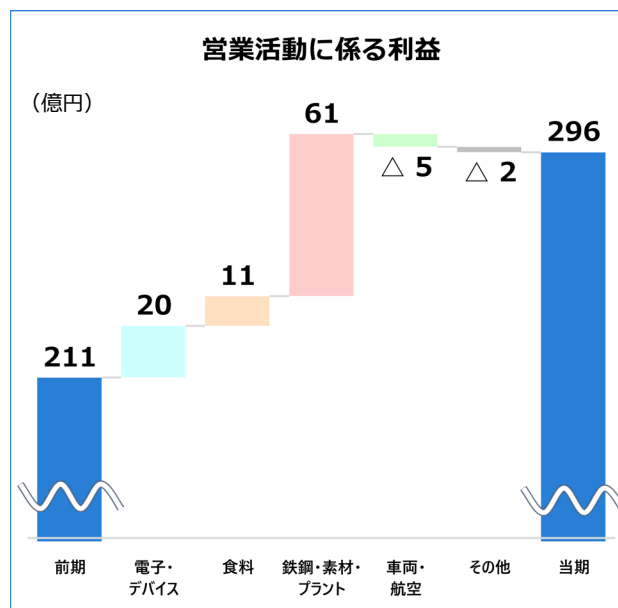
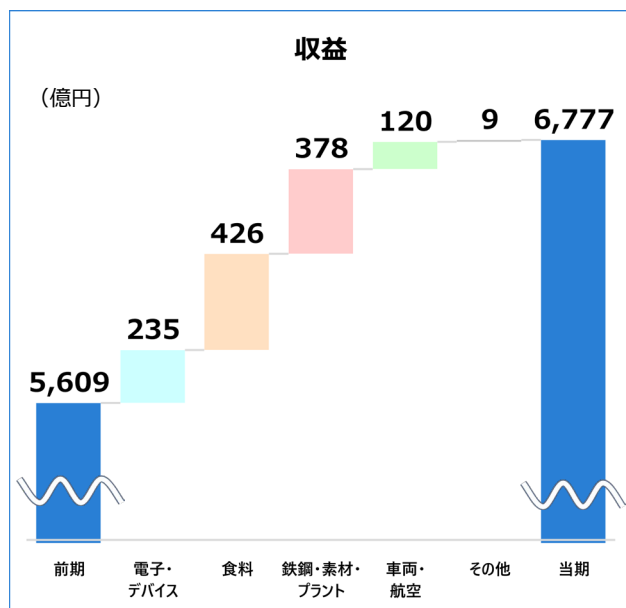
営業活動に係る利益の増加などにより、79億円の増益。

【親会社所有者帰属四半期利益】

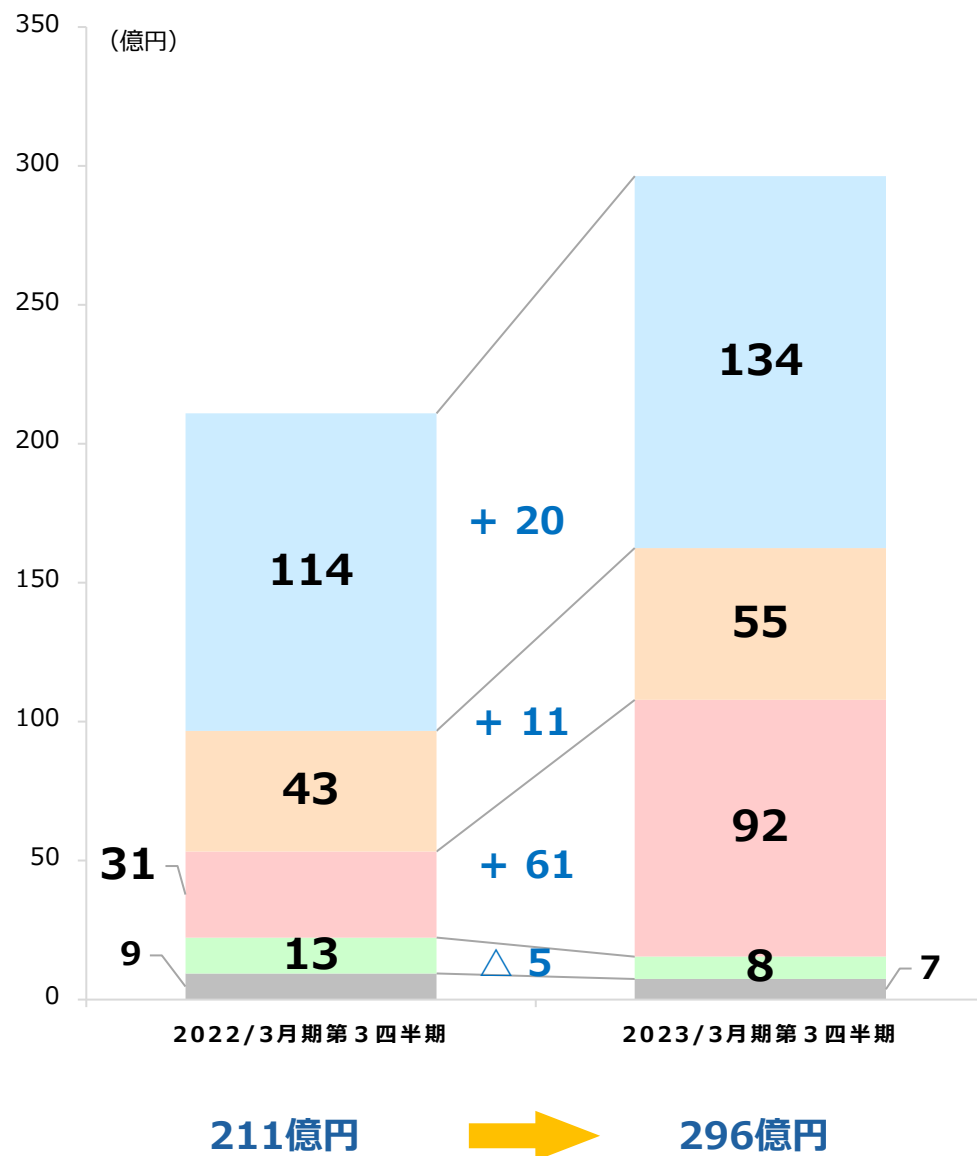
税引前四半期利益の増加に伴い、35億円の増益。

2. セグメント情報

(単位:億円)	収益					営業活動に係る利益					親会社所有者帰属当期利益				
	2022/3月期 第3四半期	2023/3月期 第3四半期	増減	2023/3月期		2022/3月期 第3四半期	2023/3月期 第3四半期	増減	2023/3月期		2022/3月期 第3四半期	2023/3月期 第3四半期	増減	2023/3月期	
				見通し	進捗率				見通し	進捗率				見通し	進捗率
電子・デバイス	1,798	2,034	235	2,850	71%	114	134	20	200	67%	43	56	14	90	63%
食料	2,152	2,578	426	3,100	83%	43	55	11	55	99%	31	36	5	33	110%
鉄鋼・素材・プラント	1,048	1,425	378	1,800	79%	31	92	61	108	86%	30	53	23	57	93%
車両・航空	511	632	120	800	79%	13	8	△ 5	10	80%	10	6	△ 4	10	64%
報告セグメント合計	5,510	6,669	1,159	8,550	78%	202	289	87	373	78%	114	152	38	190	80%
その他 (含む調整額)	99	109	9	150	72%	9	7	△ 2	7	106%	6	3	△ 3	-	-
総合計	5,609	6,777	1,168	8,700	78%	211	296	85	380	78%	120	155	35	190	82%



3. 営業活動に係る利益<セグメント別増減>



前期比増減要因

【電子・デバイス】 **20** 億円 増益

ICTソリューション事業は、セキュリティ関連やネットワーク関連の案件の増加や納期遅延の改善などもあり好調に推移。半導体部品・製造装置事業は、旺盛な需要を受けて半導体・液晶パネル関連の製造装置・消耗品の出荷が伸長し順調に推移。モバイル事業は、販売台数の伸び悩みに加えて、手数料条件の改定などにより手数料収入が減少し、低調に推移。

【食料】 **11** 億円 増益

食糧事業は、採算改善もあり順調に推移。食品事業は、リテール市場向け商材の取引が伸長し順調に推移。畜産事業は、畜産物全般の夏場以降の市況反落により低調に推移。

【鉄鋼・素材・プラント】 **61** 億円 増益

エネルギー事業は、発電用重油や外航船向け船舶用燃料販売を中心に好調に推移。鋼管事業は、米国内エネルギー投資伸長と鋼管価格上昇により好調に推移。工作機械・産業機械事業は、国内設備投資需要の増加により、堅調に推移。

【車両・航空】 **5** 億円 減益

航空宇宙事業は、既契約品の納入や需要回復も受け、堅調に推移。車両・車載部品事業は、需要の回復傾向にはあるものの輸送コストの高騰が利益を圧迫し、低調に推移。

4. キャッシュ・フローおよび財政状態

(単位：億円)	2022/3月期 第3四半期	2023/3月期 第3四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	91	△ 125	△ 215
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 103	△ 142	△ 38
フリーキャッシュ・フロー	△ 13	△ 266	△ 253
財務活動によるキャッシュ・フロー	79	113	34

(IFRS第16号「リース」適用にともなう影響額)

営業活動によるキャッシュ・フロー	62	65	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 62	△ 65	△ 4

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業収入の積上げなどによる収入があった一方で、棚卸資産を中心とした営業資金の増加などにより、125億円のキャッシュ・アウト。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

子会社の取得などの事業投資の実行により、142億円のキャッシュ・アウト。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

配当金の支払いや社債の償還などによる支出があった一方で、短期借入金の増加などにより、113億円のキャッシュ・イン。

(単位：億円)	2022/3末	2022/12末	増減
総資産	6,345	6,805	460
グロス有利子負債 (注1)	1,435	1,706	272
ネット有利子負債	512	928	415
自己資本 (注2)	1,595	1,702	108
内、利益剰余金	893	991	98
内、その他の資本の構成要素合計	166	193	28

(注1) グロス有利子負債は、リース負債を除いた社債及び借入金の合計額

(注2) 自己資本は、資本の「親会社の所有者に帰属する持分」

【総資産】

営業債権及びその他の債権や棚卸資産の増加などにより、460億円の増加。

【有利子負債】

運転資金増による借入金の増加などにより、ネット有利子負債は415億円の増加。

【自己資本】

親会社の所有者に帰属する四半期利益の積上げなどにより、108億円の増加。

自己資本比率は25.0%、ネットDERは0.5倍。

自己資本比率 (注3)	25.1%	25.0%	0.1%下落
ネットDER (注4)	0.3倍	0.5倍	0.2pt増加

(注3) 自己資本比率 = 自己資本 / 総資産

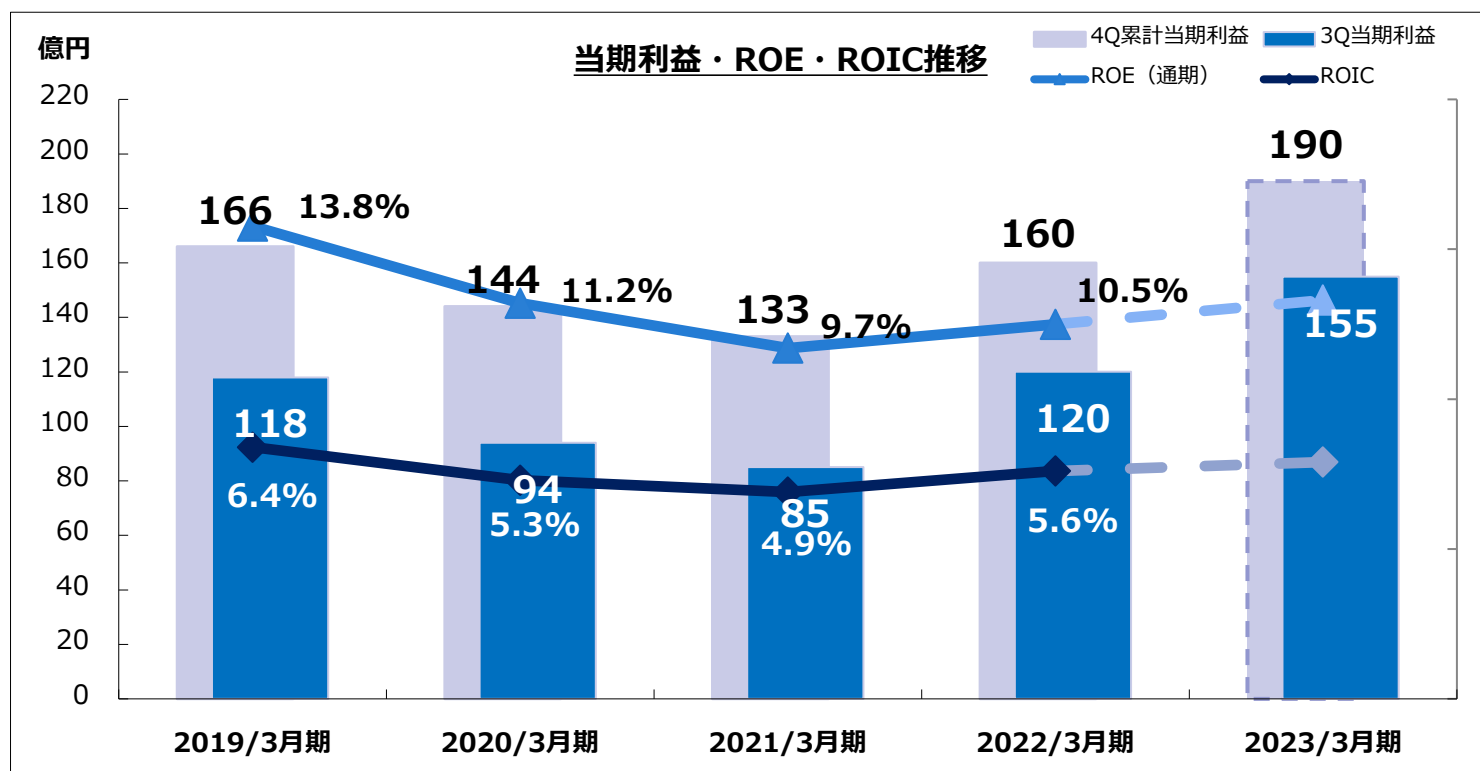
(注4) ネットDER = ネット有利子負債 / 自己資本

5. 株主還元・資本効率

【配当】

	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期(予想)
年間配当額/株 (円)	60	60	60	65	75
連結配当性向	30.3%	34.8%	37.6%	34.0%	33.0%

【当期利益・ROE・ROIC】



(注5) 1月27日に子会社2社の公開買付けを発表しておりますが、現時点では成立前のためそれらを考慮しない前提としています。